



新たな前進をめざして——第31回総会——

平成2・6・30  
東京新潟県人会館にて

朝から晴れて、快い朝だった。いつも総会の日には、天候が気がかりである。午後には曇ってきたが、終日まずまずの日和だった。

総会

黒崎 勝さんの司会で開会。副会長の芝 五郎さんのあいさつの後、勝又会長から会運営の抱負が述べられた。

冒頭に期日変更についての説明があり、昨年の30周年大会が、盛大に終わったことに謝意を表した。会報は会員相互を結ぶ重要なきずなになっている。今後とも内容



の充実をはかって、発行を続けていきたい。役員任期が一年延びたが、本年は選任委員を委嘱し、新機構を結成して、会の活性化をはかりたい。ご協力をお願いします。続いて議事—会と母校を励ます会の会計、事業報告を、黒崎孝造さんと佐藤量八さんがして、承認をいただく。小中学校へ図書費をそれぞれ十万円贈呈。吉原小学校長が二校を代表して謝辞を述べた。

佐藤彦一副会長が役員改選についての構想について説明、役員が長期間固定すると、会がマンネリになる。若返りを図って、新陳代謝したい。現在22名の役員の三分一位を、交替する。近く選任委員をお願いする予定ですから、ぜひ引受けていただきたい、と提案。閉会には芝 三四司さんがしめくくって、議事を閉じた。

懇親会に入る前に、黒崎 正副会長の進行で、来賓の紹介、来賓から町のホットニュースを中心に別掲のようなあいさつがあった。同窓会長本田正史さんの乾杯で懇親会にうつる。総会は約一時間で順調に進んだ。飲んで歌って

皆さんとの楽しい語りこそ、きょう出席した最大の目あてである。みんなの顔がほころび、ひとつに溶けあって、なつかしい片貝人になる。歌をうたい、しやぎりを演奏し木遣りを合唱すれば、誰もかも最大に高揚する。ああ、ここへきてよかった！と。五時近くまで歓を尽くして解散した。

来賓のお話(要旨) 山口益弘協議会長 故郷の山野も緑濃く、美しい季節となった。魚沼線跡地のバイパス造りが進展しないので、目下大努力中。鉄筋四階建の公営住宅が来春までに完成します。小林光紀市会議員 一局集中でなく、片貝の発展に努力したい。錦鯉を見にきて下さい。又片貝の目玉は花火ですが、年中人が来るには、花火の博物館を建てるべきだ。中学の改築は、来年度の予算に組み込まれる予定です。

佐藤彦一副会長が役員改選についての構想について説明、役員が長期間固定すると、会がマンネリになる。若返りを図って、新陳代謝したい。現在22名の役員の三分一位を、交替する。近く選任委員をお願いする予定ですから、ぜひ引受けていただきたい、と提案。閉会には芝 三四司さんがしめくくって、議事を閉じた。

懇親会に入る前に、黒崎 正副会長の進行で、来賓の紹介、来賓から町のホットニュースを中心に別掲のようなあいさつがあった。同窓会長本田正史さんの乾杯で懇親会にうつる。総会は約一時間で順調に進んだ。飲んで歌って

皆さんとの楽しい語りこそ、きょう出席した最大の目あてである。みんなの顔がほころび、ひとつに溶けあって、なつかしい片貝人になる。歌をうたい、しやぎりを演奏し木遣りを合唱すれば、誰もかも最大に高揚する。ああ、ここへきてよかった！と。五時近くまで歓を尽くして解散した。

来賓のお話(要旨) 山口益弘協議会長 故郷の山野も緑濃く、美しい季節となった。魚沼線跡地のバイパス造りが進展しないので、目下大努力中。鉄筋四階建の公営住宅が来春までに完成します。小林光紀市会議員 一局集中でなく、片貝の発展に努力したい。錦鯉を見にきて下さい。又片貝の目玉は花火ですが、年中人が来るには、花火の博物館を建てるべきだ。中学の改築は、来年度の予算に組み込まれる予定です。

佐藤彦一副会長が役員改選についての構想について説明、役員が長期間固定すると、会がマンネリになる。若返りを図って、新陳代謝したい。現在22名の役員の三分一位を、交替する。近く選任委員をお願いする予定ですから、ぜひ引受けていただきたい、と提案。閉会には芝 三四司さんがしめくくって、議事を閉じた。



望を明るくするために、「こしひかり」の愛用をお願いしたい。小宮製菓の跡地を購入して、ガソリンスタンドを作った。吉原幸至小学校長 文部省のむし歯予防の研究校となり、健康づくりに力を注いでいる。わんぱく相撲の全国大会に、藤塚君が7月24日に出場することになっていきます。箕輪みね先生 本年米寿を迎えられた。その祝いとして、出席者にお菓子を下さった。前例もないことでした。来賓は右記のほかに、吉井 陽公民館長、和田 斎中学教頭、新潟県人会の九名が出席された。会員の参加者 44名、来賓9

○大正 佐藤正雄 佐藤量八 大矢福次 神林徳次 安達宗吾 ○昭和2、10 小宮孝作 相崎勇次 早川松太郎 山口ヨシ 芝 五郎 友田勇四郎 吉井武二 山口三郎 日下部政子 芋川とし 藤田睦子 小野塚マツ

読者感想文 シロが私を変えた

「マリリンに逢いたい」を二回読みました。 シロはほんとに三キロも泳いだのかなあ、魔の海峡に入った人は出てこれないというのに。私は感動して、涙をながしました。シロは、街でおそろしい犬に出会いまして、重いけがをしました。犬でも人間でも、わるいものは、よくないことをしても、なんにも感じないし、自覚もしない。そういう人は困ると思います。 次に学んだことは、がんばればできるということです。シロはマリリンに逢わなくてはいけない、という胸さわぎがありました。けれどもマリリンはもう死んでいま

浅田鉄二 丸山 春 黒崎敬五郎 吉原彦作 小宮竹次 本田松次 勝又 功 大内登世 朝妻ヨシ 黒崎孝造 佐藤彦一 芝 三四司 小宮良夫 ○昭和11、20 和田豊次 黒崎音吉 太刀川善蔵 高橋四郎 山田チエ 山口吉五郎 佐藤道雄 丹治きみ ○昭和21、

た。きつとそんな気がして、胸さわぎがしたんだと思います。 シロはけがをしながら足をひきずって、海を泳ぎました。限界を越えても泳いだことを思うと、がんばればできると思いました。 今年私がクロスカントリー部に入ろうとしたわけは、へただけども、がんばればできると思ったからです。楽なところへ入るのは、簡単だけど、むづかしいところに入ると、うまくなつた方がいいと思つたからです。 こういう決心をしたのも、この本がきっかけでした。 去年のスキー大会で、成績があまりよくなかつたので、今年はいい成績になるようにがんばります。

とも楽しみで、どこのクラスもシーンとして見えています。 これからもたっくさんの本を読みたいと思っています。ほんとにありがとうございます。

黒崎倫子(6年)

東京片貝会の皆さんへ

毎年私達のために、洋々文庫にお金を下さっていると、聞いています。毎週金曜日には、買っていたビデオが放映されます。

黒崎敬五郎氏

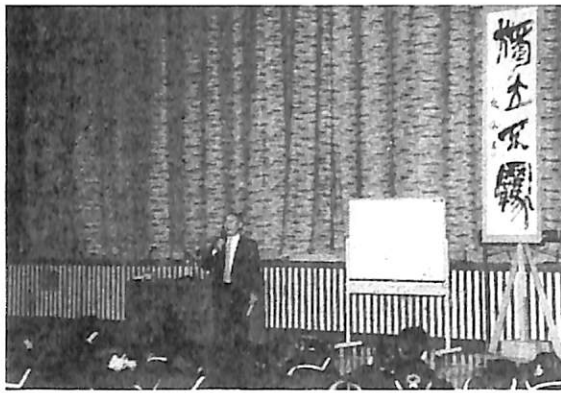
独立精神をやしなう

第9回母校を励ます会記念講演  
平成2・11・15 片貝中

私の半生

私は三の町の生まれです。昭和六年に小学校を卒業しました。故郷ほどなつかしい所はない。子どもの頃は、随分いたずらもした。あの時の場所や友だちは、今どうしているかしら。須川でなまず捕りをしたが、実におもしろかった。

野球はミットもグローブもない。木を削ってバットにした。兵隊ごっこもした。その頃から、バスケが強かったものです。みんな着物を着て登校していたが、洋服を着ていたのは、私とひとり、二人だけだった。



当時高等三年があって、山を越えて、隣村から吹雪の中をやってきた。当時の人は、そんな苦勞に耐えて勉強した。

私は飛行機乗りになろうと志して、講義録をとったが、体をこわしてあきらめた。古本屋をやるうか、南米へ行こうか、いろいろの夢をもった。その頃、東京では夜の上級校があるのを知って、とび上がるほど嬉しかった。長岡から東京へ向かったが、淋しくなって涙がポロポロ出た。

江戸川の勤め先が四時半に終わると、神田へゆき、五時半からの夜学で勉強した。夕食はいつもバターつきのパンをかじってすませた。

その頃書道を教えて下さる先生があつて、そこへも行った。寒くて手が動かない日もあつたが、寝るまも惜しんで練習したものだ。

その後、昼の学校へ転入になり大学の法学部に進学した。戦時中だったので、九月に卒業して、海軍に入隊した。フィリピンにも行ったが、まもなく終戦になって片貝へ帰ってきた。それから町の若者達を

集めて、青年団を結成した。方々から先生を招いて、幸福論や恋愛論を話しあったものです。推されて団長になったが、私の任期中五年間に、警察の世話になった者は一人もなかった。

私達の活動は新潟日報で紹介されたし、県史にも載った。このことが後世にも残ることになったのは、光榮の至りと思つています。

母校の先生を昭和22・23年とやりましたが、再び上京して、書道の勉強に専念することになった。よい先生に恵まれて、日展にも入選することができた。(少憩)

私の人生観  
生きて以上、社会にどう生きるか、ということが問題です。この一万円札に載っている福沢諭吉は、日本繁栄の基礎を築いた人です。信条として、独立自尊を訴えている。

他人によりかからない、自分の考えを持って生きなさい。物事はきちんとやること。なるべく人のやらないことをやるべきです。それには発想の転換が必要です。

湧き水の絶ゆることなく

母校を励ます会・会計報告  
平成2年6月1日～12月31日

- 1 赤い鳥のころ(VD) 7巻  
2 学習漫画 日本の歴史 20巻

- 1 岩波少年文庫 30巻  
2 ムツゴロウとゆかいな仲間たち

私が寄贈したこの条幅には、独立不羈と書きました。(この語源を説明した後) 論吉は役人にならず、勲章ももらわなかった。「学問のすすめ」は、今も多くの示唆に富んでいます。

ことばがあり、文字があるから人間同士の意志が通じるのです。だから文字は大切なものである。文字の起源である甲骨文字は、中国の河南省で発見された。亀の甲を焼いて、事柄を判断した。それが元となって、文字が生まれ、今日に至っています。

今日はいろいろ話しましたが、どうか私の情熱だけでも、汲みとっていただければ幸いです。

やさしい眼差しの中に、諄いゆんと説く話を、児童や生徒達は心深くうなづいて聞いていた。町民も数十人参加した。

毎年この頃、玄関に赤く咲くサルビアと菊の花が美しかった。黒崎さんを暖かく迎えるように！

- ち 10巻  
3 新潟県風土記  
4 銀河宇宙オデッセイ 2巻 (合計 43巻)  
今回基金をおよせ下さった方は左の通り。ご芳志あつくお礼申あげます。63名  
○大正  
帰山すま 錦織ツタ 石上リョウ  
吉原賢策 安達清次  
○昭和2・10  
芝 五郎 野上フミ 友田勇四郎  
高橋忠夫 長野チイ 藤塚栄三郎  
大塚文雄 城取八重子  
○昭和11・20  
小宮繁雄 水村ヨシ 広川久美子  
川村朝子 横田トシ 中野みちよ  
佐藤広次 内海光子 岩片千恵子  
小田レウ 平田三郎 安達敬一  
青木富代 石原ミツ 木村百合子  
芝 郎治  
○昭和21・30  
阿部脩次 安達吉秋 安達弘男  
吉原栄一 神林貞俊 山本文子  
佐藤孝二 黒崎 正 渡辺チエ子  
永井 一 新沢須美 小川イエ子  
仁上 貞 千葉悦子 高橋一郎  
黒崎紀雄 藤塚文頭 小川裕記子  
松岡規子 大橋洋子 三重堀栄一  
黒崎 勝 松本キイ 本田十三雄  
小泉春江  
○昭和31・43  
田口 操 堀井 猛 小宮善興  
安達寿光 浅田達夫 黒沢あい子  
諸我時夫 内藤富美子  
○大阪交野市 大矢三郎 (敬称略)

会員近信

松井平助氏(大6)  
病氣入院中、皆々様によるしく会報を楽しみ、なつかしく拝見しています。編集の方々のご苦勞を思い、心から感謝しています。  
吉井信三氏(昭32)  
仕事上の研修会が、箱根にありますが、箱根にありませんので欠席します。

黒沢あい子氏(昭36)  
30周年記念の会報合本を、片貝の父にも見せましたが、懐しい名前をみてとても喜んでいました。(小宮幸雄・佐藤祐一氏から勤務の都合で出席できないとのことでした。ほか多数受信、多謝)

母校を励ます会・会計報告

会報41号以後の収支(平成2・6・1～2・12・31)	
収入	¥168,653
基金(63名)	164,000
利息	4,653
支出	¥213,990
寄贈図書	200,000
講演会券	10,000
郵便	3,990
全通算会計(昭和58・5・1～平成2・12・31)	
収入	¥2,627,478
基金(延707名)	2,450,200
利息(割引債・銀行)	177,278
支出	¥1,952,469
寄贈図書(8回)	1,800,000
講演会(9回)	90,000
印刷・郵券等	62,469
現在高	¥675,009

# ふるさと・は・い・ま

## 燃える母校

小学校のバスケット部は部員が32名。毎週三日間練習に励んでいる。中越大会では、春(7・4)と秋(11・25)にいずれも優勝した。春は県大会で、準々決勝で新潟市の入船小に、惜しくも敗れた。



▲片貝小鼓笛隊パレード

歯の優良校として、たびたび表彰されているが、去る11月8日の研究発表会には、各方面から多数の先生方が参加されて、その成果が注目を集めた。文部省の指定校である。(2面吉原校長の話参照)

中学校も、中越地区でバスケットが優勝した。(バレーボールは3位)、続いて県大会で三位となり、北信越大会に出場した。8月7日福井県の南越中と戦ったが、惜しくも敗れた。

9月より、アメリカから若い英語の先生がきて、毎週月・火と教えている。文部省などの派遣で来日した。

カルフォルニア大学を卒業したばかりの日系三世という。キミコ・サカシさんという、生徒の人氣を集めている。市内のマンションに居住して、片貝校ほか他校も教えている。

秋祭りには、早速参加して、楽しんだということである。

## 町のトピックス

### 伝統芸能保存会が発足

5月24日  
関係者が公民館に集って編成された。会長に安達精二氏が就任。

そのねらいは、「木遣り音頭」が時代と共に変化しているのを、正調に戻して正しく伝えよう、ということ。また、今は

途絶えてしまった「巫子爺」を修復し、踊り手の養成をしようというもの。

今後の推進を大いに期待したい。

芸能まつり賑やかに 6月24日  
人気行事として、毎年喜ばれているが、本年度7回目。

小学校の南運動場で6時半から開催された。中学校の吹奏楽団をはじめ、九団体が参加した。ぎっしり会場に集まって、大変な賑わいだった。日本舞踊、民謡、歌曲など、多彩な演目に、楽しい一夜を過ごした。

7月20日

ベースボールマガジン社の紹介で、モスクワ本社の東京支局長の家族が小千谷市を訪れた。

錦鯉を鑑賞したり、片貝の四尺玉を見てびっくりしたり。熱心にビデオに納めて、新潟へむかっ

た。

8月15・16日

お盆の催しとして、三の町のほのぼの広場に、等身大の巫子爺が飾られた。

獅子おどしが倒れるたびに、爺の手足が動くというカラクリに、通行の皆さんも、感嘆しきり。毎度の新しい趣向に、町の人々

の絶賛を博していた。  
8月19日  
綱ひき大会  
農協主催の大会は、今度5回目地域の融和と体力の増強が目あ

た。  
小学校の体育館に、男子16、女子10チーム、合計26チームが参加して、午後七時まで熱戦を展開した。

10月17日

地球を大切に  
同窓会主催の講演会が、農協ホールで開催された。講師は初代の中学校長桜井先生の三男桜井享氏。現在東海大学の教授である。

又片貝中の卒業生でもあり、同窓会が先生をお招きした。専門の宇宙のことがらについて、興味深い話があった。

参加者はホームを埋め尽くした。講演の後、同窓会主催のパーティーが開かれた。

本田善治氏叙勲

本田さんを知らぬ人はあるまい。4尺玉の生みの親として、天下に名をとどろかせた。又市議を24年間勤められた。秋の叙勲で、勲四等瑞宝章が贈られた。

## 片貝ミニ情報

婆々ご遺跡  
農免道路の整備を進めたところ、縄文土器がたくさん出てきた。作業員を動員して発掘が進められ、六月末にいちおう完了した。太刀川家の墓所の近く。

5月27日  
正順寺の藤まつり  
日曜日毎に「白鳩日曜学校」を開いている。子ども達にわかりやすい話をしたり、ゲーム大会をしている。この日は藤まつりと称して、賑やかに開かれた。

7月7・9日  
カナダからお客様  
浄照寺の小林市議は空手の指導者として知られている。

カナダ高校の先生夫妻が観光のために来日。ご主人は空手初段で、小林さんの孫弟子に当たっている。体育協会なども夫妻を招いて懇親会を催した。

8月5日  
屋敷まつり  
町内の一層の親睦をはかると



第11回駅伝大会 11月4日  
午前十時に花火が揚がると、52

チームが一斉に小学校の校庭を出発した。五人一組で、小学生から成人まで二百六十名の選手が十二・五kmを走った。多数の賞品が出たが、中でも十年連続出場の花巻会、特別表彰をうけた。

和気あいあい、町中こぞっての熱走だった。

め、片貝駅の跡地にステージを作り、カラオケ大会、盆踊り、金魚すくい、焼そばなど多彩の催しがあった。九時過ぎまで、みんな楽しんで。

月下美人開く  
一の町の黒崎力男さんが栽培しているサボテン月下美人が見事に咲いた。十年以来、苦心の世話が実った。秋祭りに奥様が求めたのも。黒崎さんは農協参事として活躍中。

今年の稲作と今年の雪  
稲作は昨年に比べて、九九・九パーセントの出来であった。天候はよかったが、僅かに昨年を下回った。

五の町の浅田文夫さんの観察によると、今年の冬も、昨年同様、少雪と予想している。

数年来、自宅の庭にある椿を観察していて、蕾と葉との状況から結論したということである。

## あとがき

母校を励ます会の講演会で、会友黒崎敬五郎さんは、発想の転換なくして進歩はない、と力説されました。まことにその通りです。これまでもお世話いただいた役員の皆様の芳名に感謝するとともに更に新しい視野で、今後の運営をどう展開したらよいか、みんな考えてみたいと思います。率直にご意見をお寄せ下さい。会が私達の心よりどころになるならば、なんとすばらしいことでしょう。また、そうありたいものです。